

新潟県立新発田南高等学校

のHPによろこそ！



県立新発田南高等学校長

中島 俊哉

本校ホームページにアクセスしていただき、ありがとうございます。

本校は、大正6年（1917）に「実業的人材」を育成したいという町の熱意により「新発田町立新発田商業学校」として創立されました。昭和3年に県立に移管し「新潟県立新発田商業学校」と改称しましたが、戦争中には商業科が廃止され、工業科（建築科と土木科）へ転換、「県立新発田工業学校」と改称しました。戦後の昭和23年には、新制高等学校となり、商業科が復活して「新潟県立新発田商工高等学校」となりました。

高度経済成長時代には、工業科に機械科が加わり、下越地区の実業教育の中核を担う高等学校として大きな役割を果たしてまいりました。

その後、昭和58年には、商業科が分離独立して「県立新発田商業高等学校」となり、本校には、地域の普通科進学希望者の増加に対応するため、新たに普通科4学級が新設され、豊浦分校（定時制）を併設して「新潟県立新発田南高等学校」となりました。平成18年には県立中条工業高校を統合して、現在に至っております。

今年は、創立百周年を迎えます。10月14日（土）に記念式典を挙行いたします。同窓会、PTA、生徒が一体となって、お祝いをしたいと考えております。

本校の使命は、「誠実」「自主」「創造」の教育目標のもとに、人間性豊かで、社会に有為な人材を育成し、地域の期待に応えていくことでもあります。

普通科は、大学等への進学希望者が多く、国公立大学への進路希望達成率が向上しております。工業科は、一括くり募集、5コース制、プロフェッショナル、アカデミック両コースの設置などにより、就職も進学もその進路希望を達成できる仕組みとなっております。

生徒数も多いことから、生徒会活動、クラブ活動等も活発に行われ、生徒は、日々切磋琢磨しています。

地域の皆様からは、インターンシップ、職場見学等ご協力を頂いております。今後も、地域に根ざしたキャリア教育推進のため、ご支援くださるようお願い申し上げます。

平成29年4月1日